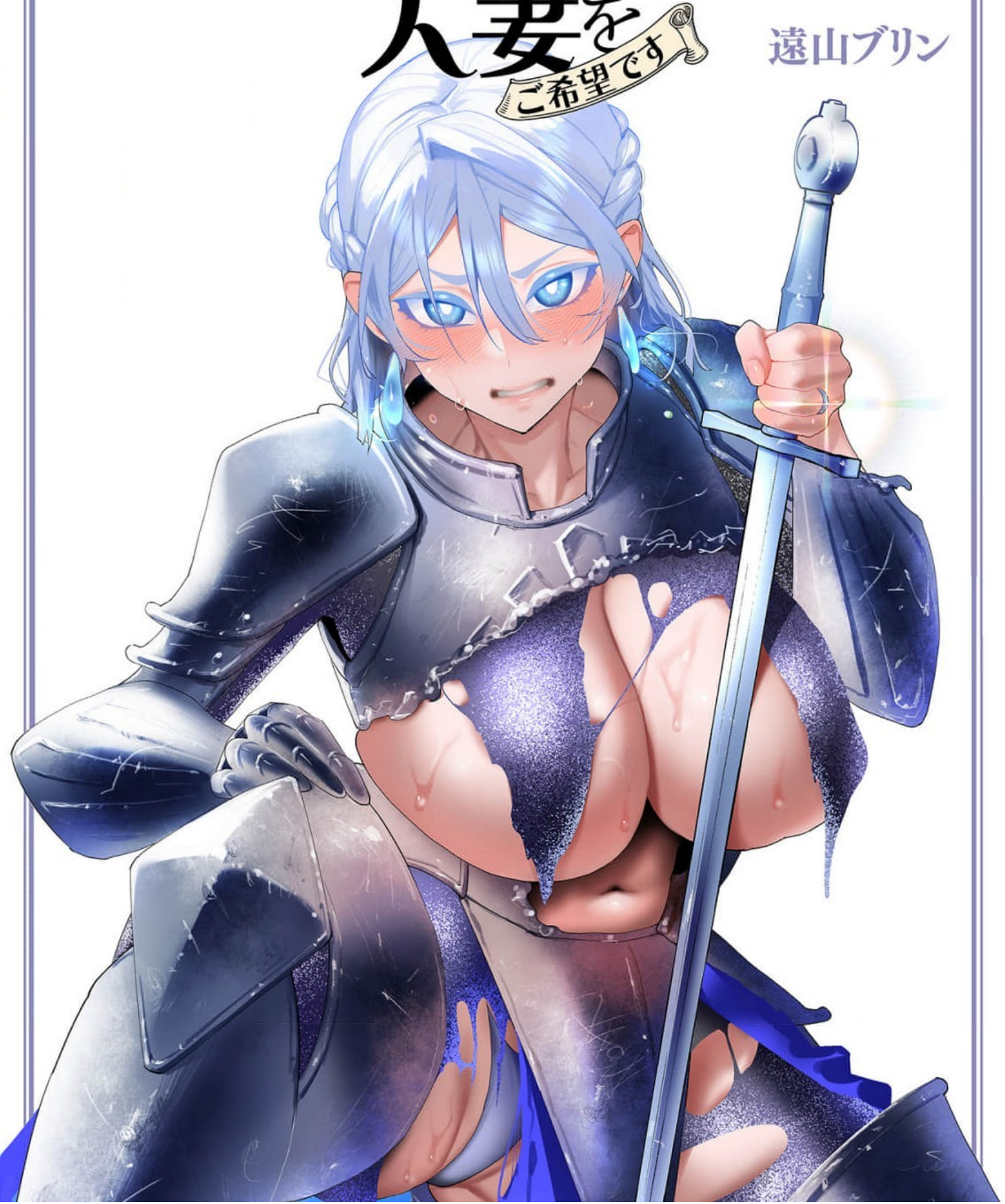


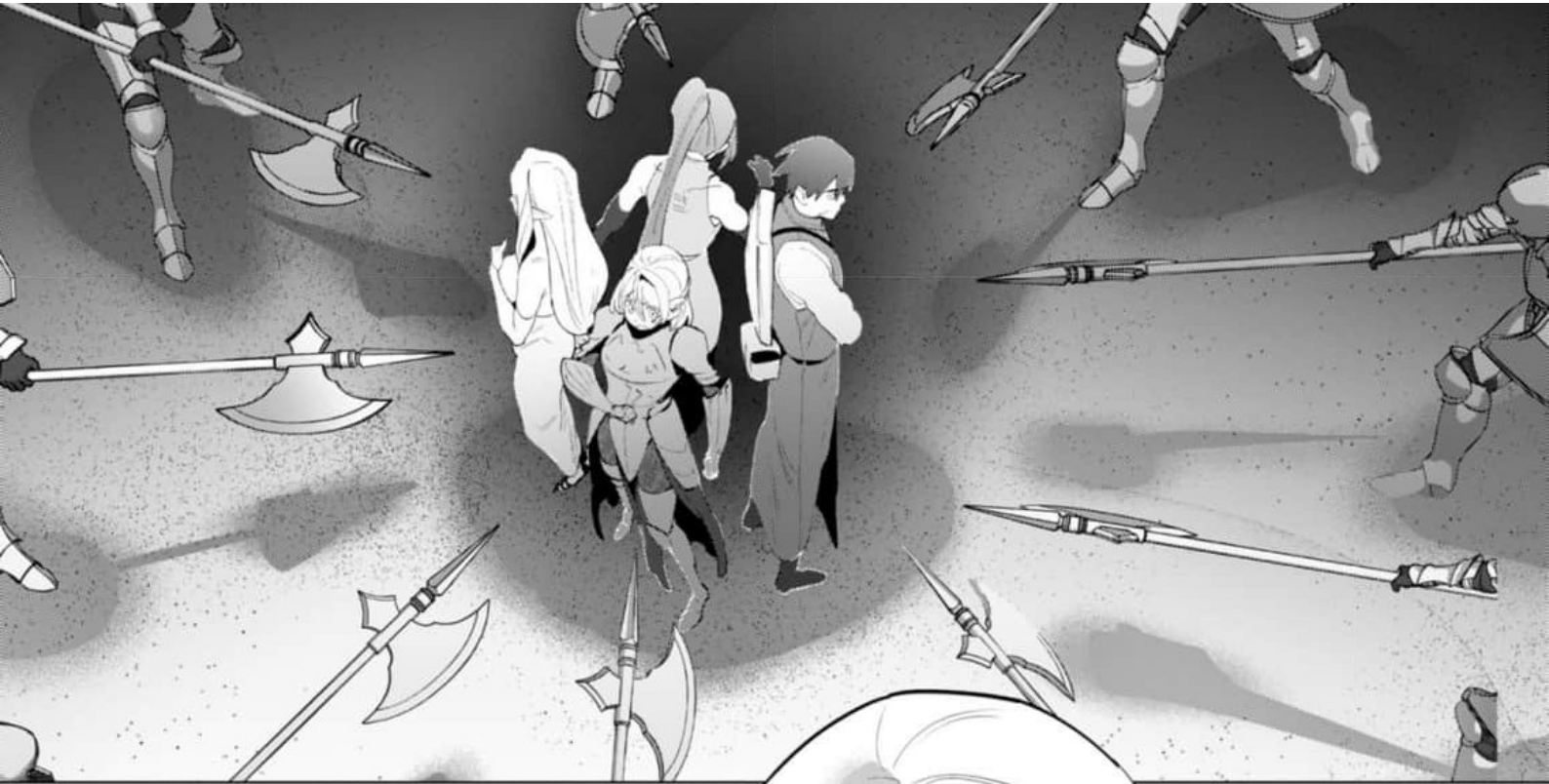
第28話

# 勇者さまは報酬に 人妻を

ご希望です

遠山布林











ちよつと待て

あんたと二人つきりにして  
ミアの安全は保障できんのか？



話…？



あんたがまた  
ミアを見捨てない…

なんて言えんのか？



キ



信じてくれっ!!

もう二度と  
そんなことはしないっ…!!

ハッ  
どうだか

口ではなんとでも  
言えるもんな



ミア…

ザッ

トレベス様!

〜っ







あの頃の僕は

君を家臣としてしか  
見ていなかったのかも  
しれない



…僕は君に  
最低なことをして  
しまった

何度でも  
謝るよ…



……



君を失って  
初めて気づいたんだ…

ガッ

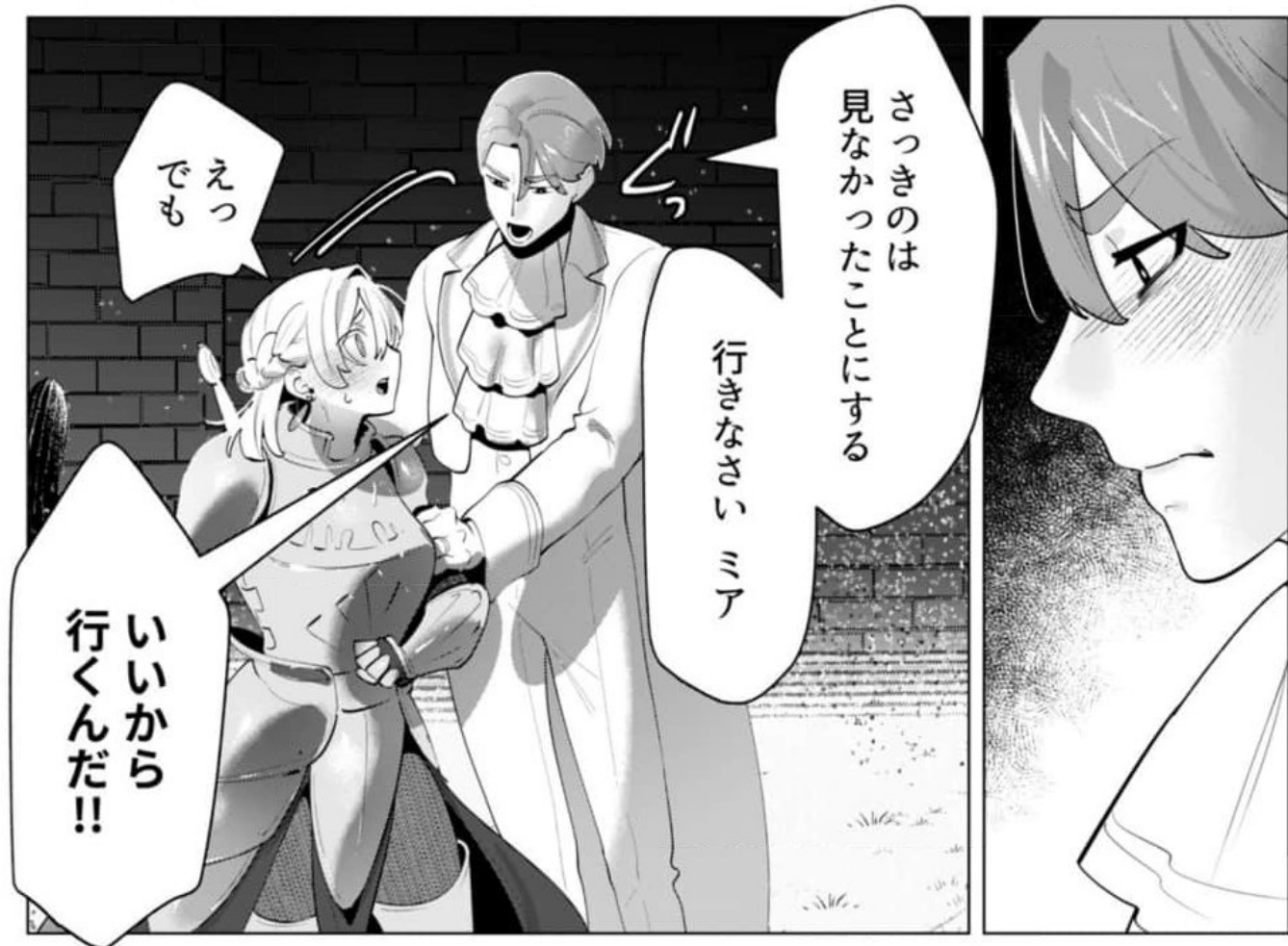








えっ…？



さっきのは  
見なかったことにする

行きなさいミア

えっ  
でも

いいから  
行くんだ!!










国へ戻ろうと言われたが  
断った…



私はクロエ達と  
旅がしたいから



そうか





俺に惚れたのか?

ニヤッ



なっ!!

グッ

ザッ

~~~~

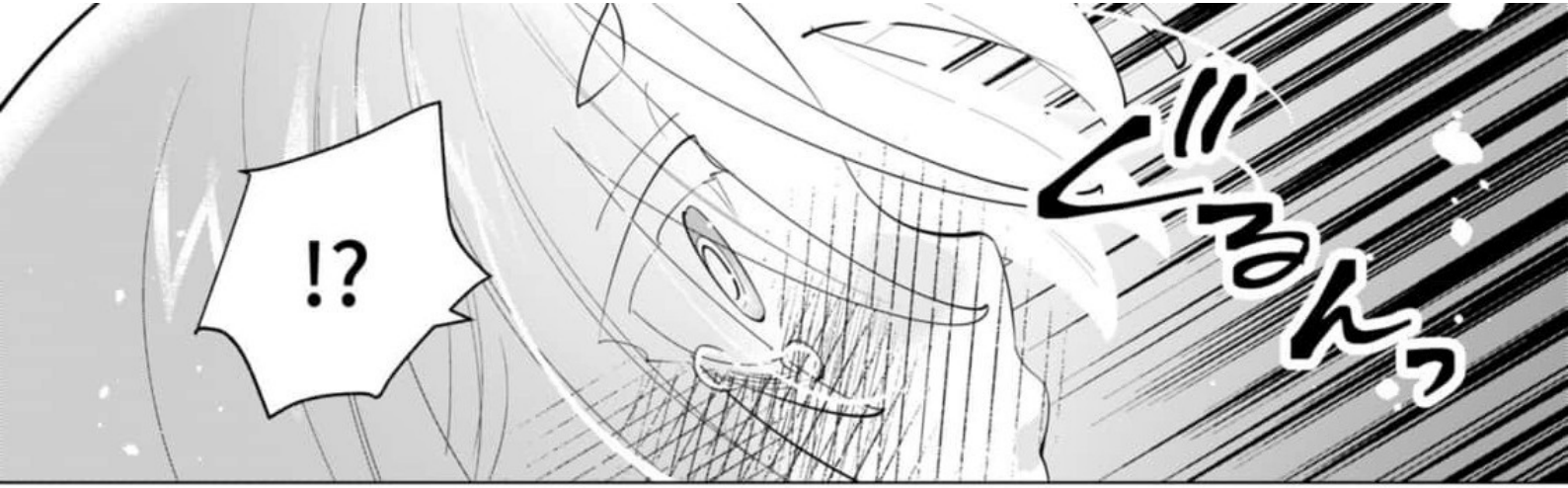


...



そんなわけっ...









私は国を離れたとはいえ  
ハンガルド騎士団長だ！

処女を捨てることは  
絶対にできないっ！！



……？

あっ

つつ

〜えっと



だからっ  
その…

うっ…

もじ



うしろの方...  
でならっ...

!!!



あめい...

んっ...  
んっ...





そろそろいいか…

そんなの  
知らなっ…んっ

分かるか？  
俺の指を  
啜えこんでるぞ？



あっ  
ちょっと待って！

挿れるぞっ…



もじ  
……してみたい

その…  
正面から…  
抱き合っ…

…今度は何だ？  
うっ後ろからじゃ  
なくて…



…そうだった  
あんた初めてなんだ  
もんな…



…

…だめか？



っ

キ

キ



やりたいことがあったら  
言ってくれ

優しく抱いてやる



わかったよ









動いていいか…?

うんっ…♥



ぬっ…っ…っ…

…っ…っ

あっ

あめっ…♥

クロっ…



へんだっ…

おっ…

へんだっ…♥  
あめっ…

だめっ…せっ…











